

ニッポン警視庁の恥といわれた二人組 刑事珍道中 (1980)

メディア 映画

ジャンル コメディ アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 97分

初公開日 1980/10/04

【解説】

鎌田敏夫のオリジナル脚本を斎藤光正が監督したコメディ。松田優作主演「野獣死すべし」の併映作品として公開された。

斑島祥介と樺屋隆治は警視庁翁署の刑事だが、やることなすこと失敗ばかり。上司の花田課長は二人を捜査に当たらせず、模擬訓練で銀行強盗の犯人役を命じた。二人は張り切って銀行強盗役を演じ、見事にジュラルミンケースの強奪に成功するが、箱の中身は新聞紙ではなく現金一億二千万円だった。二人はさっそく捜査を開始、祥介は銀行員の百合子を尾行するがすぐに見つかってしまい、逆に彼女の部屋に誘われた。だが祥介の入浴中に百合子が殺害され、彼は殺人の容疑者として隆治の保護観察を受けることに…。

【クレジット】

監督	斎藤光正
製作	角川春樹
企画	岡田晋吉 中村良男
プロデューサー	松岡明
脚本	鎌田敏夫
撮影	水野尾信正
美術	徳田博
編集	西村豊治
音楽	近田春夫
助監督	松永好訓
出演	中村雅俊 Masatoshi Nakamura 勝野洋 金子信雄 大楠道代 伊藤敏孝